

国際的写真祭『KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2026』にて ルイナールの世界を五感で感じる「ルイナールバー」オープン ～アートとワインの奥深い関係性をお届け～



MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社（東京都千代田区神田神保町）が取扱うシャンパーニュメゾン ルイナールは、2026年4月18日（土）～5月17日（日）まで開催される「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2026」にて、五感でルイナールの世界をお楽しみいただける「ルイナールバー」を土日祝日限定でオープンします。

「ルイナールバー」では、メゾンの象徴である「ルイナール ブラン・ド・ブラン」や「ルイナール ロゼ」をグラス及びボトルにて提供。土壌の個性を映し出すシャンパーニュのテイスティングを通じて、アートとワインの奥深い関係性を是非ご体感くださいませ。

「ルイナールバー」概要

期 間：4月18日(土)、19日(日)、25日(土)、26日(日)、29日(水・祝)、

5月2日(土)、3日(日・祝)、4日(月・祝)、5日(火・祝)、6日(水・祝)、9日(土)、

10日(日)、16日(土)、17日(日)

※「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2026」は4月18日（土）～5月17日（日）で開催

時 間：11:00～17:00

会 場：ASPHODEL 内（京都府京都市東山区末吉町 99-10）

価格：ルイナール ブラン・ド・ブラン グラス 3,000円（税込） / ボトル 20,000円（税込）

ルイナール ロゼ グラス 3,000円（税込） / ボトル20,000円（税込）

公式ウェブサイト：<https://www.kyotographie.jp/>

ルイナールと京都国際写真祭

2013年に始動した伝統と文化の街 京都を舞台に開催される日本では数少ない国際写真祭「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」。京都市内の京都文化博物館 別館、京都市京セラ美術館、東本願寺 大玄閣などの歴史的建造物や近代建築の施設を会場に、日本および海外の作品や貴重な写真コレクションを展示します。



世界最古のシャンパーニュ メゾン ルイナールは2016年より参加。2021年には、日本の若手アーティストやクリエイターの発掘と支援を目的とした「Ruinart Japan Award（ルイナール・ジャパン・アワード）」を設立いたしました。アワード受賞者には、「アーティスト・イン・レジデント・プログラム」として、フランス・ランスにあるルイナールのメゾンへ招き、滞在を通じた作品制作と、翌年以降の「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」での作品発表の場を提供しています。

本年度で創設5周年を迎えた「Ruinart Japan Award 2025」では、環境が変わりゆく姿や、人間の営みをもたらす影響を手がかりに制作を続けてきた次世代の写真家 柴田早理氏が受賞。富山県南砺市の山あいで育ったのち、多くの時間を都市部で過ごしてきた柴田氏は、都市での生活の中で覚えた“自然から離れていく”感覚が、「人間」と「自然」を見つめ直し、それらを主題に創作をおこなっています。

ルイナールについて

1729年創設以来「シャンパーニュの宝石」と謳われる世界最古のシャンパーニュメゾン。コート・デ・ブランとモンターニュ・ド・ランスで収穫された最高品質のブドウを巧みに選定し「清らかさ」「繊細さ」「上品さ」を追求した、その繊細でフレッシュ、丸みのある豊かな味わいを引き出して高度な技術を有するシャンパーニュ作りのエキスパートであることから「シャルドネハウス」として、その地位を確立してきました。熟成には、1931年フランス歴史的建造物として指定された、ガリアローマ時代の白亜質の石切り場跡「クレイエール」を使用。熟成に理想とされる一定の温度と、適度な湿度を保つ環境下で繊細、且つ清らか、上品なルイナールスタイル「シャルドネの芸術」を完成させます。

公式ウェブサイト：<https://www.mhdkk.com/brands/ruinart/>

